

改めて考える 水源地保護

「ごみの有料化に伴う 不法投棄を防ぐ」

苦小牧市の良水質の秘密

苦小牧市の水源は、旧環境庁による水質調査で全国トップクラスの水質を誇り、また安定した水量に恵まれています。その秘密は広大な自然がもたらす「保水能力」と「ろ過機能」によるものと考えられています。

また昭和60年旧厚生省の「おいしい水研究会」から水道水のおいしい都市として上位32都市に選ばれるなど、内外から高い評価を得ています。

今後も上質な水道水を保つには、水源地保護が最重要であるため、苦小牧市上下水道部では定期的に水源地上流付近の清掃を行っています



職員による清掃風景

不法投棄の現状について

現在、水源地付近への不法投棄はありません。しかし、水源地よりも下流付近に不法投棄が確認されており、



錦多峰清掃風景、ボランティアのみなさま毎年ご協力ありがとうございます。

見回りを強化し不法投棄を防ごうと職員一同努力しておりますが、残念ながら

ら不法投棄は後を絶ちません。半年に一度「水を汚染から守る会」と協力し、ごみの回収を行うなどしてありますが、大型ごみも多く対応に苦慮しております。



錦多峰川下流で回収されたごみ

また、今年7月1日よりごみの有料化が始まり、これに伴い不法投棄が増える懸念がされています。

水源地を守るために

1週間に一度職員が水源地を訪れ、不法投棄がないかなど状況を厳しくチェックしています。

また、水源地保護のため指定されている国有林以外の地域に関して、苦小牧市独自で苦小牧市水道水源の保護に

関する指導要綱を設定しており、水質を汚濁する可能性のある事業や行為を禁止しています。

不法投棄を防ぐ

こうして良好な水源を確保するために職員も努力しているところですが、今後もおいしい水道水をお届けするためには、皆様のご協力が必要不可欠です。特にご協力していただきたいのは次のことです。

「山にごみを捨てない」

結果的に川から取水することになりますが、雨水が土に染み込み、土の中を過されわき水となり、それが流れ込み川となります。よって水質に影響を及ぼす範囲はかなり広範囲にわたるため、水源地や川だけでなく山全体を保護していかなければなりません。



未来においしい水を繋いでいくために今後ともご理解とご協力をお願いいたします。